

地域資源の有効活用に関する提言書

平成 31 年 3 月 29 日

安芸高田市まちづくり委員会
第 2 小委員会

目次

1. はじめに	1
2. 経過	1
3. 提案	2
(1) 吉田サッカー公園について	3
○現状	3
○課題	4
○課題解決のための提案	4
(2) 広島県自然歩道について	5
○現状	5
○課題	6
○課題解決のための提案	6
4. おわりに	7

安芸高田市まちづくり委員会 第2小委員会

委員長 井上 正樹

副委員長 津田 義則

委員	古川 省三	橋谷 誠	沖田 一吉	青原 美智子
	角田 考志	用田 正	岡田 千里	清水 盤
	山本 数博	谷口 恭一	正田 建二	渡辺 誠
	西川 サヨコ			

1. はじめに

安芸高田市は、政令指定都市の広島市と隣接しており、自家用車または公共交通機関での通勤距離圏内であるとともに、歴史や文化風習、風土に恵まれ、市全域面積の大部分を占める山林、農地が広がる豊かな風景、農産物にも恵まれています。また、こういった地形を利用した様々な運動施設や観光施設等が整備されています。

しかしながら、宿泊施設が少ないことや、大勢の人数が食事する場所がないこと、さらには、長引く不況により縮小された予算の影響で、これまでに整備された施設等の廃止や縮小、維持管理が行き届いていない状況が発生しており、既存の施設等を活かした観光客の増加につながっておりません。

そうした中、市外又は県外から来訪客がある既存施設や、安芸高田市の地形、風景等を活用した既存施設を再度手入れすることにより、新たな集客の可能性があると考えました。

本小委員会では、既に整備されている地域資源を最大限に有効活用し、安芸高田市の魅力を引き出すための方策等について審議を行ったので、その経過と結果について次のとおり報告いたします。

2. 経 過

平成29年度

(1) 第1回小委員会

開催日時 平成29年8月23日（水） 13:55～16:00

出席者 委員12名、事務局3名

会議内容 ①第2小委員会委員長、副委員長の選出

②小委員会の検討テーマについて

③H29第2小委員会開催スケジュール

(2) 第2回小委員会

開催日時 平成29年10月24日（水） 13:30～15:30

出席者 委員11名、事務局2名

会議内容 ①検討テーマ「地域資源の有効利用について」に関する意見交換

(3) 第3回小委員会

開催日時 平成29年12月18日（月） 13:30～15:30

出席者 委員13名、事務局2名

会議内容 ①検討テーマ「地域資源の有効活用について」に関する意見交換

(4) まちづくり委員会視察研修

開催日時 平成30年3月14日（水）島根県益田市 真砂地区振興センター
出席者 委員15名、事務局3名
視察内容 ①人口推計による人口安定化に向けた取組について
②住民参加型の地域づくりの取組について

平成30年度

(1) 第1回小委員会

開催日時 平成30年8月21日（金）13:30～15:30
出席者 委員13名、事務局2名
会議内容 ①検討テーマ「地域資源の有効活用について」に関する意見交換

(2) 第2回小委員会

開催日時 平成30年10月24日（水）13:30～15:30
出席者 委員10名、事務局2名
会議内容 ①検討項目「吉田サッカー公園及びその周辺の整備について」に関する意見交換
②検討項目「広島県自然歩道」に関する意見交換

(3) 第3回小委員会

開催日時 平成31年3月11日（月）13:30～14:40
出席者 委員14名、事務局2名
会議内容 第2小委員会提言書（案）の内容確認、修正、承認について

3. 提 案

安芸高田市まちづくり委員会第2小委員会では、本市のこれまで既に整備されている地域資源を再度見つめ直し、新たな観光資源として有効活用ができないか検討していくことが重要であると考えます。このため、地域資源の洗い出しを行った結果、2つの施設に着目しこれらを活用して魅力あるまちづくりにつながる仕組みづくりを検討しました。

その結果、次の地域資源を活用したまちづくりを提案します。

(1) 吉田サッカー公園について

○ 現 状

安芸高田市は、J1「サンフレッチェ広島」のマザータウンであり、安芸高田市吉田町西浦にある「吉田サッカー公園」ではプロチームの練習場として、またユースチームの練習及び試合会場として年間約800回弱の利用、約50,000人弱の多くの来場者があります。プロチームの練習日には特に多くの観客が来場し、駐車スペースが満車になっている状態です。

しかしながら、吉田サッカー公園には、観覧するための観客席というものはなく、いくつかあるベンチを利用させていただくか、立見で観覧していただいている状況です。吉田サッカー公園内にある管理棟は、サンフレッチェ広島の利用により一部しか来場者が利用することが出来ません。また、吉田サッカー公園内では軽食等が喫食できるようなレストハウス、応援グッズを販売する売店等も設置されていないのが現状です。

また、公共交通機関を利用してこられた来場者は、市中心部及び吉田サッカー公園最寄りのバス停からの移動手段がなく、吉田サッカー公園まで歩いて移動されている姿が見受けられます。

せっかく応援に来られている来場者に、「おもてなしの心」のない施設となっており、マザータウンとしての応援体制に疑問を感じています。

別表 平成27～29年度吉田サッカー公園施設別利用状況

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
トレーニング室 一般利用者数	3,282人	3,424人	3,837人
グラウンド利用者数	34,219人	30,458人	27,798人
サンフレッチェ プロチーム練習回数	227回	226回	205回
サンフレッチェ ユースチーム練習回数	198回	200回	203回
サンフレッチェ ユースチーム試合回数	50回	63回	45回
安芸高田市内 団体利用回数	315回	291回	302回
観客数	12,239人	14,809人	12,858人

※教育委員会生涯学習課集計による

○ 課 題

「サンフレッチェ広島」「サンフレッチェ広島ユース」の公開練習及び公式試合が開催されており、多くの集客があるにもかかわらず来場者に対する配慮及び景観の整備等を欠いています。

「サンフレッチェ広島」のマザータウンとしてチームを最大限応援し、応援に来てくださる「サポーター」の方々への「おもてなし」の気持ちを念頭に置いた配慮を強化する必要があります。

○ 課題解決のための提案

- ① 大切なサポーターの方々、施設利用者に心地よく利用していただくために、収容人数を拡大できる施設整備と、施設内で気軽に喫食できるレストハウスや売店、一般利用者のシャワールーム等の整備を早急に実施することを求めます。
- ② 公共交通機関を利用して来られる来場者は、市中心部及び最寄りのバス停からの移動手段がなく、徒歩で移動されている来場者が見受けられます。
この状況のままでは、将来的には来場者の減少と地域の活性化に歯止めがかかってしまうことが危惧されます。
このような事態を回避するため、イベント時に臨時便を用意するなど対応し、利便性を向上させる必要があります。
- ③ 国道54号線から吉田サッカー公園へと続く道路沿線においては、平成32年度完成予定の道の駅「(仮称)あきたかた」や「田んぼアート」といった新たな観光施設が整備され、来場者の増加が見込まれるにもかかわらず、樹木等の植栽がなされていないため四季折々の風景がなく、殺伐としています。
安芸高田市の木及び花である桜、紫陽花等を吉田サッカー公園内及び周辺に植栽し、四季それぞれの見どころを設定し公園としての機能を持たせることによって現在のサポーター及び施設利用者に加え、新たな観光客を呼び込む施設になりうるが見込まれます。
また併せて、植栽して数年間は幼木を有害鳥獣から保護するための対策を講じることが必須であるため、長期的な視点での管理が大切です。

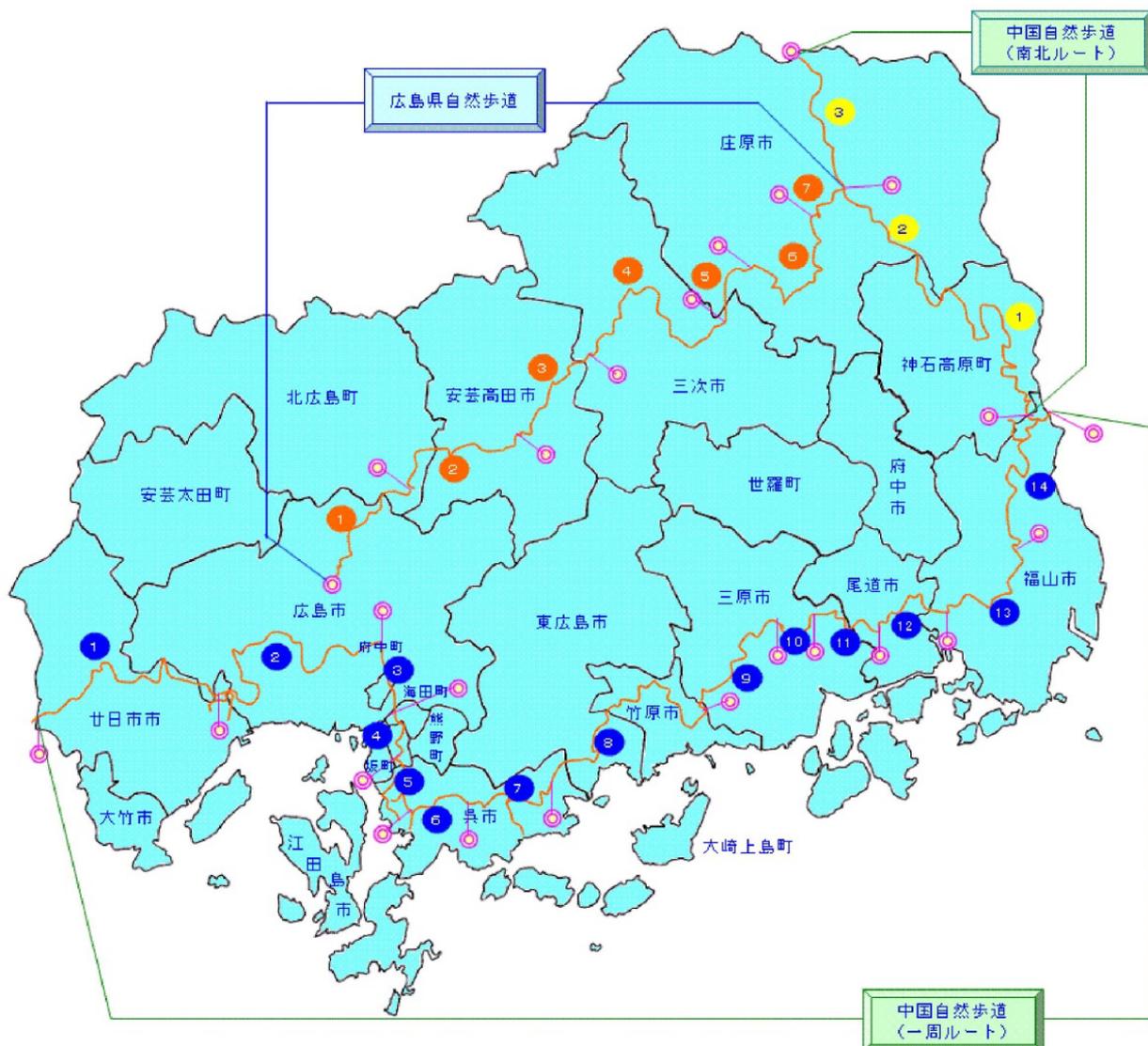
(2) 広島県自然歩道について

○ 現 状

広島県の中央部を横断する「広島県自然歩道」は、別図のように広島市、北広島町、安芸高田市、三次市、庄原市の自然の中を通る全長125kmのコースで、安芸高田市では八千代町、吉田町、甲田町を通過しています。

完成当初は、多くの登山客が利用されていましたが、林業の衰退化や異常気象による土砂崩れ、イノシシ等有害鳥獣からの被害、長引く不況による自治体の予算の縮小化等の理由により十分な維持管理が行き届いておらず、倒木や歩道の破損により通行ができない箇所も多数存在しています。

別図 県内に整備されている自然歩道位置図



※広島県ホームページより抜粋

○ 課 題

広島県自然歩道は、安芸高田市の地形を最大限に活用し設置されていますが、管理が十分に行き届いておらず利用が困難となっています。

また、広島県自然歩道に関する周知が不足しているため、完成当初は多数の来訪者がハイキング等に訪れていましたが、現在は減少し続けています。近隣の地域住民の中でも認知度が低く、広島県及び安芸高田市からの情報が不足していると言えます。

○ 課題解決のための提案

- ① 広島県自然歩道の維持管理について、今後の管理方法や計画が不透明で適切に維持管理がなされていません。

広島県及び安芸高田市が密に連絡及び連携し、破損状況の把握や可能な限り利用可能な状態への復旧を計画的かつ継続的に行うことが必要であることを提言します。

- ② 安芸高田市は、市内外に対する情報発信力が弱く、地域住民及び安芸高田市外へのPRや情報が伝わっていません。

情報の周知を強化するためには、市のホームページ掲載、お太助フォン放送及び広報誌の配布だけではなく、メディアの活用や他市町観光施設へPRパンフレットの配布、安芸高田市観光協会のホームページ掲載、市ホームページへの外部リンクの強化、市内観光マップでの案内等により情報を積極的に発信し、発信する側や検索する側にも迅速で分かりやすい情報公開が必要です。

- ③ 広島県自然歩道のルートから眺望できる範囲には、堂床山から望める眺望、土師ダムや吉田サッカー公園、田んぼアート実施予定地、郡山城跡、湧永庭園、五龍城址など見どころが多数あります。また、周辺には安芸高田市が誇る毛利元就に関連する史跡や、地域の伝統の残る景勝地も多数あります。これらを広島県自然歩道の見どころとして設定し、案内看板、説明看板の設置やホームページ、SNS等でPRすることが必要です。

- ④ 広島県自然歩道を歩道としてのみではなく、起伏や高低差を利用したイベント（健康増進のためのウォーキングやトレイルランニング、BMX等のスポーツの大会会場として）を企画及び開催をし、競技者や関係者に多数かかわってもらい、これまで以上に利活用するべきと考えます。

4. おわりに

この度の提言書に関しましては、二つの施設に絞ったものとなりましたが安芸高田市内にはまだまだ多くの利活用ができる可能性のある施設が存在しています。

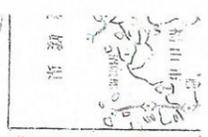
また、地域によってそれぞれの特色や様々な課題に応じた市の施策によって、地域別の状況に対応した取組が必要不可欠となってきております。

今後においても、既存施設の廃止又は新たな施策若しくは取組、施設設置のみに目を向けるのではなく、限られた財源を効率よく活用していくためにも、これまでに整備された施策や施設を最大限利活用するために、地域住民と行政の協働共助によるまちづくりを推進することが大切であると考えます。

それぞれの担うべき役割を認識しあい、安芸高田市民一人ひとりが誇りと愛着を持って暮らせる魅力あるまちづくりを推進するため、市民と行政がお互いに提案しあえる良好な関係を築き、常に最善かつ最良な安芸高田市を求めていくことが必要です。

安芸高田市まちづくり委員会
(第2小委員会)

〒731-0592 広島県安芸高田市吉田町吉田791
TEL 0826-42-2124 / FAX 0826-42-4376



民謡に「つるとみ姫
可愛や「お満」
伝説のまま

落人のお満の食んだ
「じょうぼう」は
春の山菜「バカ
の芽」のこと

赤子ゆえ平家は
「牛若」逃したり
平家の「お満」
源氏に追われ

隠れ家で「お満」か
なぞる琵琶聴こゆ
山桜散りて花の
軍舟

落人の谷から遠き
琵琶ヶ池
一人隠したさいじ
なお満

源氏では鞍馬山の
「牛若」と
平家は「お満」
と誓の噂

鴨が降り
波紋揺がる
琵琶ヶ池
機織るお満の
まぼろしを見る

山の上の
琵琶ヶ池の
月へ言つ
私はお満
平家のお満

谷城を
焼いてまでも
落人を
補えた源氏
おまんは誰ぞ

おまんかわいいや「かんの冬に
浴衣のままで布さらす
おまん切られる 谷城焼ける
今年じょうぼうが喰われまい
(おまん伝説 馬子唄)

琵琶ヶ池に
古き舟あり
たましいが
過去へゆくととき
乗るのだからか

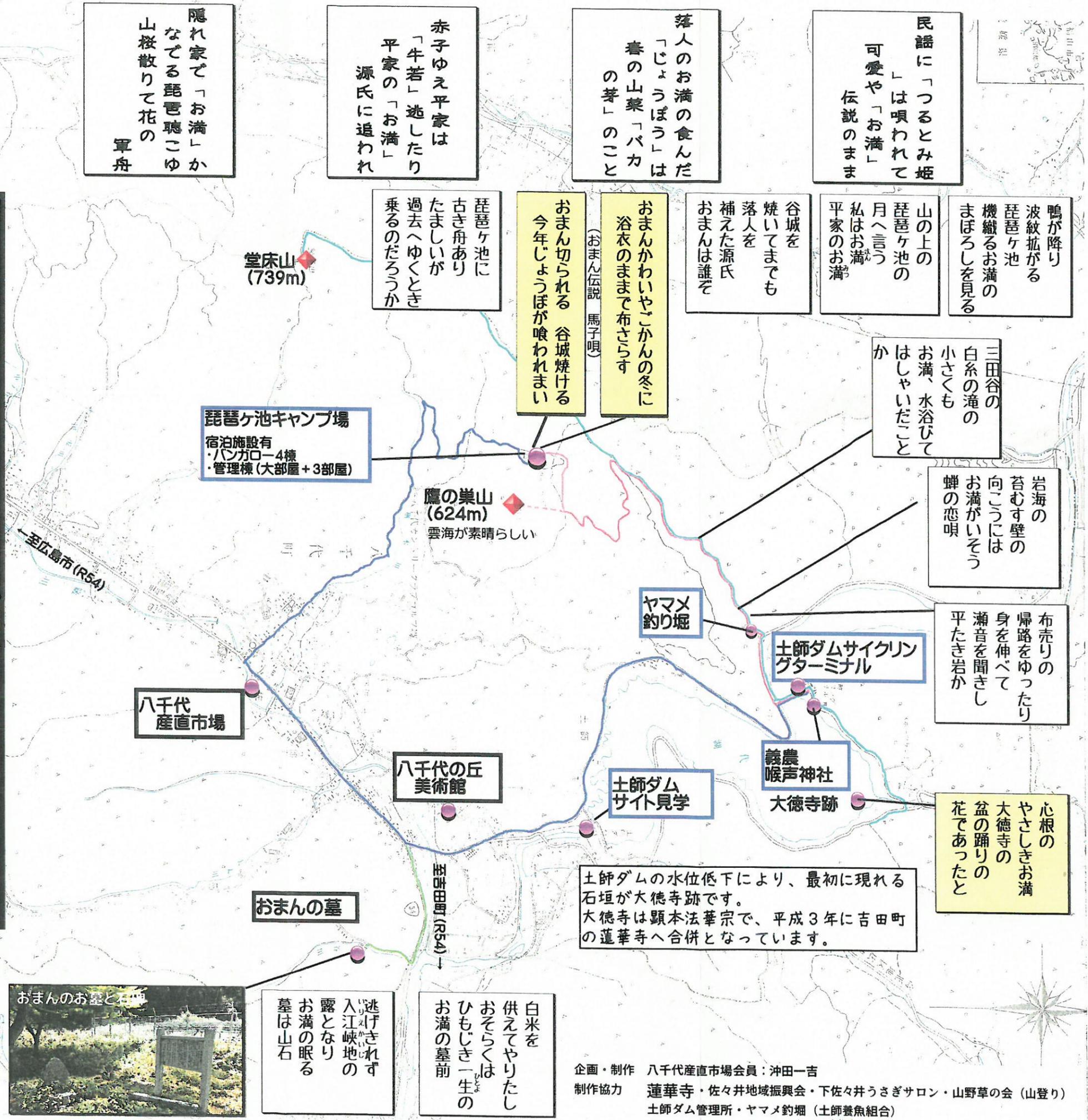
三田谷の
白糸の滝の
小さくも
お満、水浴びて
はしゃいだことか

岩海の
苔むす壁の
向こうには
お満がいそ
う
蟬の恋唄

布売りの
帰路をゆったり
身を伸べて
瀬音を聞きし
平たき岩か

心根の
やさしきお満
大徳寺の
盆の踊りの
花であったと

土師ダムの水位低下により、最初に現れる
石垣が大徳寺跡です。
大徳寺は顕本法華宗で、平成3年に吉田町
の蓮華寺へ合併となっています。



八千代の昔話『琵琶ヶ池の落人おまん伝説』を散策
(源平合戦時代)
~山道古道~土師ダムを歩こう!
安芸高田市八千代町

琵琶ヶ池 (1.5時間) ← 落人おまん伝説 → 土師ダム

広島県自然歩道ルート
おまん伝説ルート

八千代産直市場 (車で移動 約30分) → おまんの墓 (10分)

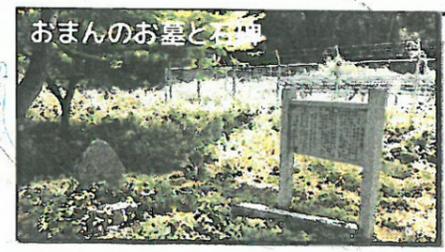
Check



おすすめ

土師ダムサイクリングターミナル 定休日 毎週火曜
琵琶ヶ池キャンプ場
八千代の丘美術館 毎週火曜
八千代産直市場 正月のみ

伝説に
はえたる翼を
わが町の
人らいつよりか
慈しむなり



逃げきれず
入江峡地の
露となり
お満の眠る
墓は山石

白米を
供えてやたし
おそらくは
ひもじき一生の
お満の墓前

企画・制作 八千代産直市場会員：沖田一吉
制作協力 蓮華寺・佐々井地域振興会・下佐々井うさぎサロン・山野草の会（山登り）
土師ダム管理所・ヤマメ釣り堀（土師養魚組合）